

私立高校の入試には、面接がある学校があります！

いよいよ私立高校入試まで4週間をきりました。今年もいくつかの私立高校では【面接】試験が実施されます（公立高校でも特別選抜では面接が実施されます）。また、今回は【面接】がない人も、面接のかわりに試験中の態度をチェックされるでしょうし、いずれ就職試験のとき等に【面接】試験を受けることになるでしょう。

そこで、【面接】の目的・心構え等の基本的なことを君たちに理解してもらう時間を設定しました。「面倒くさい！」と思わずに、『T（時間）P（場所）O（状況）』に合わせて人と接する、という一般常識を是非知ってください。この機会に、「社会人として当たり前の心構え」を学びましょう。

面接試験はなぜあるのでしょうか？ 答えは1つです。筆記テストではわからないその人の人柄を見るためです。たとえ学力が高くても、「本校に入学しても、適切に生徒どうしや教職員との関係をつくっていけない」と判断されてしまえば、面接試験で不合格となってしまうこともあるかもしれません。以上のことをしっかりと意識して、適切に面接試験を受けましょう。

（1）面接試験のスタイルは？高校によって異なります

- ①個人面接…1人の受験生に対して、1人あるいは複数の面接官が質問をします。あなた1人だからといって変に緊張する必要はありません。良い意味での緊張感を持って、自分の意見や考えをきちんとした言い方で答えて下さい。
- ②集団面接…受験生3人～5人が1つのグループになって、1人（あるいは複数）の面接官が質問をします。同じ質問を順番に尋ねていく場合や、前の人々が答えた事に対する感想を尋ねられたり、途中で質問が変わったりする場合があります。



（2）面接では、どんなところをみられる？

- 《態度》面接室への入室・退室の姿勢や言葉遣い、中学生らしいきちんとした服装をしているか。
- 《表現力》質問に対して、きちんと答えているか？また敬語や丁寧語をきちんと使っているか。
- 《判断力》自分の意見をきちんと述べているか。



などが主なポイントです。変に格好(恰好)をつけたり、あなたが思っていないことを言う必要は全くありません。自分なりに一生懸命答えることが一番大切なのです。

（3）どんな言葉遣いをすればいい？

言葉遣いは、服装と同様に「人柄」をあらわすものです。普段、友達と話すような言葉遣いは避けて、ハキハキと答えましょう。また流行語を使ったり、言葉を省略して話してはいけません。

- ①自分を指す言葉…男子＝「ぼく」「わたし」、女子＝「わたし」「わたくし」
- ②家族を言うとき…「父」「母」「兄」「姉」「祖父」「祖母」のように言います。
- ③声の大きさ…自分の答えが相手（面接官）にきちんと届くことが大切です。言葉の最後に「～です。」「～ます。」をきちんと言うことで、面接官にはっきりと伝わります。
- ④言葉遣い…「はい」「いいえ」はきちんと言うこと。また、どんなにあなたが答えている内容が良くても、ボソボソと小さい声で答えていたら面接官に良い印象を与えません。「～です。」「～ます。」「～だと私は思います。」「分かりません。」ときちんと答えましょう。
- ⑤敬語…日ごろ、年上の人（親や先生）にどのような言葉遣いをしていますか？昨年度の職場体験を思い出してみてください。敬語は、皆さんが社会に出たときに絶対に必要になるものです。今この時間から、きちんとした敬語を使うように心がけましょう。また、最近よく使われていますが、「私（僕）的には…」「全然いい（OK）です。」「…っていうか。」等という表現は誤った日本語です。面接の場では、使わないようにしましょう。

（4）面接時の服装は？

面接官の目に最初に飛び込んでくるのは、みなさんの服装です。服装は、あなたの「人柄」を表す最初の『受験に対する思い』であり、それによってあなたの第一印象が決まってしまう。では、今の自分を下の15項目でチェック☑てみましょう。「きちんとできている」自信はありますか？面接官は、決して「甘い判断」をしてくれません。

- 髪の毛は、中学生らしい適度の長さだ。
- 髪の毛に乱れはなく、清潔に整えられている。
- 髪の毛を染めたりパーマをかけたりしていない。
- （特に女子の場合）化粧はしていない。
- 制服に汚れやシワはない。
- 制服のボタン（袖口も）はきちんと揃っている。
- ネクタイやリボンをきちんと持っていて、正しくつけられる。
- スカート・ズボンの長さ・幅は、きちんと校則を守れている。
- カッターシャツやブラウスはきちんと着ている。
- 制服の下に、派手な柄・色のシャツやトレーナー類を着ていない。
- 生徒証明書はきちんと持っている。
- 上靴には落書きがなく、きれいである。
- 上靴のかかとを踏みつぶして（又は踏んでいたあとが）ない。
- 靴下は派手でなく、きれいである。
- 爪はきちんと切りそろえてある。

(5) 違反質問とは？

一方、いくら面接とは言え、自分自身にとって聞いてほしくないことがあるはず。面接官に聞かれたからと言って無理に答えなくてもよい質問事項もあります。その場合は「その質問にはお答えできません。」「この質問には答えなくてよいと中学校で指導を受けております。」と言ってください。また、そのような言い方をせざるを得なかった質問が出た場合は、中学校に戻った際、必ず報告してください。

【違反質問の例】

〈その人の答え方によって合格が左右されてはいけない内容である質問〉

- ・あなたの本籍地はどこですか？
 - ・あなたのお母さんの出身地はどこですか？
 - ・あなたのお父さんはどのような仕事をしていますか？
 - ・あなたは何人きょうだいですか？
 - ・この学校に来るまでに、どれぐらいの交通費と時間がかかりますか？
 - ・コロナの影響で経済の状況が不安定ですが、あなたのご家族は大丈夫ですか？
- など。

〈その人の思想信条に関係すること〉

- ・あなたが信仰している宗教はありますか？また、ある場合は何という宗教ですか？
 - ・あなたが尊敬する人は誰ですか？
 - ・あなたが好きな本は何という本ですか？
 - ・あなたの家は新聞を取っていますか？取っている場合は何新聞か教えてください。
 - ・〇〇高校は△△の宗教の授業があります。あなたはその授業を受けることができますよね？
 - ・コロナを収束させるため、国や府はいろいろな対策を行っていますが、それについてあなたはどう思いますか？
- など。

では、以上のようなことを意識しながら、面接の練習をしてみましょう。

今年度の面接試験に関する情報

- ・昨年度、近隣の多くの私立高校は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、面接試験を中止しました。しかし、今年度は現在実施する高校がいくつかあることをすでに確認しています。感染症の拡大状況により、急遽中止になることもありますが、入試要項に面接があることが明記されている高校を受験する人は、あると思って準備を進めましょう。
- ・公立高校で面接試験が予定されている学校（箕面東、能勢分校など）は、予定通り面接試験が実施されるので、準備しておきましょう。

雪が積もったので、雪かきました。

